

# 偏差値◎×△でもHSK 6級合格！

諸谷香恵

日中学院で学び始めたのが2017年4月、まだ2年と少ししか経っていませんが、ずいぶん長い時間を過ごしたような気がします。きっとその2年間でとても濃い2年間だったからだろうと思います。今年の1月、HSK 6級の合格点に達したとはいえ、まだまだ中国語の実力は“差得很遠”。今日は、中国語学習で自分はダメだな～と思っている人、行き詰っている人を勇気づけるため、今までの私の中国語学習について書いてみます。どんなにできない人でもがんばれば、ある程度（笑）はいけることの実例としてお読みいただければ幸いです。

2016年秋、それまで約30年間働いた音楽業界（外資系レコード会社、音楽出版社等）を離れ、フルタイムの仕事をやめました。そしてやっと与えられた昼間の時間を中国語の勉強に充てようと思い立ちました。中国語学習を始めたのは、2002年4月。毎年4月に開講するNHKのラジオ講座が中国語学習の始めです。趣味のピアノを弾くのが好きな私は、その2年前の2000年10月、ショパンコンクールの覇者となった中国人ピアニスト、ユンディ・リ（李云迪）が大好きで、彼が何を話しているのか知りたい、という一心で中国語の学習を始めたのです。まったくのゼロからのスタートです。ラジオ講座は一回でも聞き逃すとついていけなくなってしまうので、一日三回の放送（再放送を含め朝昼夜3回放送されます。）を休みなく3年聞きました。会社には一番のりで到着、仕事の前に聞き、昼休みをずらして二回目、そして帰宅して夜の三回目です。飲み会があっても途中で「ごめん、ちょっと用事がある」と言って抜け出し、盛り場の歩道や公園でも聞きました。しばらくして中検3級を受けてみたところ合格しましたが、この先の中級は独学では無理と判断し、中検会場でチラシを配られた語学学校の個人レッスンでしばらく学びました。その後会社の仕事が忙しくなり、それもやめてしまい、私の中国語学習もそれっきりとなってしまいました。

それから10年以上経過した2016年、仕事も一段落したので、この中途半端な中国語をどうにかしたい！と強烈に思い、学校を探していたところ、既に日中学院で学んでいた80代の叔母からの情報で、「日中学院はいいよ。先生もいいよ。」ということを知りました。「長澤先生という先生はさびしいらしい。」という噂も入ってきました。早速、お試して聴講したところ、3月で講座も最終段階ということもあり、生徒たちが次々に指名されて答えられないでいると、「まだ、それわかってないの～?!」の先生の叱咤が飛び、ぬるい雰囲気ゼロ。「私が入るのはここだ！」と即決しました。

そして、4月から正式に生徒として「基礎まとめ」を受講し始めたのですが、受講するうちにわかってきたのが、「自分はこのクラスではできない部類だ」という厳しい現実です。なんで中国人がこのクラスにいるの？って思った、発音もヒアリングも抜群な同学、年齢的には私より上だろうが、小テストで満点を連発する同学、先生の質問に活発に受け答えして、听写もよくできる同学・・・等々みんなすごかった！そんな中、とにかく休まないように、復習や宿題はすぐにやるようにしました。

中国語は、使用する文字が漢字であり、日本語にたくさんの漢語が入ってきていることもあって、日本人にとって英語などより、学習を始める時の敷居が低い言語です。英語が苦手だったから中国語をやるという人もいるかもしれませんが、しかし、入門段階を終えて初級、そして中級の入り口ぐらいあたりで、学習の進捗が思うようにならなくなるのです。いつまでも自分が中級とは思えない、という感覚がつかまといまいます。しかし、「基礎まとめ」を終えるころには何となく、自分の中に中国語の構造が見え、

学好中国话，为日中友好起桥梁作用！

# 日中学院報

2019年 6

毎月1回1日発行 第531号

編集発行人・片寄浩紀

定価1部100円/1年1000円（送付）  
郵便振替 東京 00100-38184

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3

TEL 03-3814-3591 FAX 03-3814-3590

URL <https://www.rizhong.org/>

E-mail [info@rizhong.org](mailto:info@rizhong.org)



4月25日 本科日本語科 都内見学

## A 先生の新語コーナー



xīnsānbǎn  
“新三板”

新三板。中国の店頭市場を指す。新三板は上海、深圳の両証券取引所を補完する市場として2013年に設立された。この市場は登録制をとり、審査が不要なため上場手続きが簡単で、中小企業が低コストで資金を調達する市場となっている。中国証券監督管理委員会（証監会）の監査下に置かれ、全国中小企業株式譲渡システム有限公司により運営管理されている。昨年11月時点における新三板市場の時価総額は3兆5000億元余り、上場企業数は1万社余り。

(A)

なるほどそうだったのか、と思えることが増えてきました。長澤先生の教え方で特に好きだったのは、図（集合のベン図）や表（マトリクス表）に描いて文法を説明することです。さすが理系出身の先生だよ～！ おかげですと頭に入りました。

基礎まとめクラスでは、毎回復習を兼ねた単語テストと聴写、たまにある日文中訳テスト。同学们は当たり前のように満点連発。たいへんですよ、これについていくのは！

そんな怒涛の「基礎まとめ」のクラスも1年で終わりとなり、さて次はどうするか？ この時点で、かねてから中検2級も取っておきたいと思っていたので、戴先生の「中検2級対策講座」を受けることにしました。3ヶ月と短期ですが、2級に必要な語彙や文法、作文など、素晴らしい配布資料です。だけど、何せ情報量が多い・・・、“記不住”な状態で、講座終了と同時に2級を受けたところ不合格。自分としては割といい線いっていると思っていた文法の問題で大きな失点。中検2級って、英検2級からの類推で「たいしたことない」と思われている(?)かわいそうな級だけど、決してやさしくないと思います。3級からの階段の一段が、急にそれまでの5段分ぐらいある。自分なりにけっこう勉強してきた感があったので、不合格の後は1週間ほど凹みました。凹むのにも飽きて、これからどうしようかな～と思っていたとき、長澤先生にお目にかかる、「HSK 6級受けなさいよ～」との言葉。「まだ2級も受かってないし、HSKも受けたことないから、5級から受けたほうが良いと思うのですが・・・」と言ったところ、「そんなに受かりたかったら HSK 6級受かってから受けなさいよ！」とのさらに無謀な助言(笑)。自分にはまだまだ無理と思いつつも、とりあえず「HSK 6級対策講座」を受けることにしました。

この講座は2時間の授業二コマが、休み時間を挟んで続けて行われるので、合計4時間にわたり集中力とテンションをマックスに保たなければなりません。初めて経験する HSK 6級のレベルは、とにかく自分とかけ離れていました。聴力にしてから、とにかくスピードが速い。何の話？ はあ？ って思っているうちに5問目が読まれています。でも、毎回受ける模試で、私の好きなピアニスト、ユンディ・リに関する問題が出たのです。これには驚きました。

もちろん正解です！ちなみに、彼の音楽高校時代の先生の名前を聞き取る問題でした。

阅读も、とにかく問題量がめっちゃ多く、回答する時間は一問あたり秒レベル。「找到病句」(間違っている文を選択する問題)に至っては、全部 OK じゃん？ どこが悪いの？ っていう文が並んでいます。ネットの HSK 6級受験経験者のブログなど見ると、この問題は捨てるべし、という意見が多く、ほとんど困りましたが、聴力、阅读、写作の中で得意科目が皆無の私にとっては、「捨てる」という選択はありません。図書館で借りた『新汉语水平考试6级攻略 阅读』を二周やって、それなりの知識をつけることができました。今ではこの問題が好きになったかも。

毎回やる模試スタイルの答練では、相変わらず安定した点は取れず、予備校模試的に言えば、“E判定”状態で、毎回ダメな自分をこれでもかと見せつけられました。しかし、受講の回数が進むにつれ、できない中にも手ごたえのようなものが感じられるようになり、部分的に7割の正答を取れる時もありました。この「HSK 6級対策講座」は、徹底したアウトプット練習なので、本番で“HSK 6級考试现在开始。”の声が聞こえたときも、いつものアレだな、という感じで、気持ちの焦りもなく解答することができました。

今年の1月2日、ネット上で自分の得点が合格レベルに達していたことがわかったときは、うれしいと言うよりも驚きました。何しろ E 判定のビリギャルが難関大学に受かったようなものですから。

さて、皆様の中にも、さらに上のレベルの検定試験の受験をためらっている方がいらっしゃると思います。優等生でない私が断言しますが、まずは当たって砕けてください。ダメでも失うものはないです。(受験料は失いますね。)年齢も若くない(還暦越えています)、中国での生活も留学も駐在も経験なし、HSK 受験歴なし、中検2級もまだ。(先日合格しました。)そんな人間でもなんとかなりました。日中学院には、実力あるすばらしい先生方、そしてその熱い指導、考え抜かれたどこにも売ってない教材、充実した図書館と、自分を追い込める高いレベルの授業がそろっています。自分を信じて、皆さまもがんばった自分に出会ってください。

教室のど真ん中、教壇に立つ私の真正面にド～んと座って授業を受け続けた諸谷さんの身体からは、何か得物のしれないオーラが出続けていました。「凝り性」なんていう言葉では片づけられないエピソードの一つ。趣味のピアノ練習に何時間も没頭してできたお尻の「床ずれ」に、入浴中の痛みで初めて気がついたそうです。

もう二年近くのお付き合いになりますが、諸谷さんからは一度としてネガティブな言葉を聞いたことがありません。どんな障害物でも楽しみながら乗り越えてしまう「勇姿」は、いつ見ても壮快な眺めです。

長澤文子

## 「看电视也算学习」

と老師に言われたことがあります。映画やドラマ鑑賞は、歴史や文化、習慣を学ぶだけでなく、教室では習わない中国語らしい言回しに接するよい機会でもあり、また聴く能力も確実に向上します。今月は新着DVDを4点ご紹介します。

### 新着映画 (日本語字幕あり)

#### \* 『父の初七日』 (原題：父後七日)

監督：王育麟、刘梓洁 / 主演：王莉雯、吴朋奉、陈家祥 (第47回台湾金馬賞7部門ノミネート 内2部門受賞他多数受賞)

台北で現代的な生活を送る阿梅は父の危篤の報せに田舎へ戻るが、父は既に亡くなっていた。道士である叔父阿義の采配で7日後に葬儀が行われることになるが…。この7日間の道教の伝統的な葬式のあれこれを、兄大志と共に慌ただしくまた面くらいながらもこなしていく阿梅とその周辺の人々を、ユーモアとペースを交えながら描く。

#### \* 『再会の食卓』 (原題：团圆)

監督：王全安 / 主演：卢燕、凌峰、莫小棋、徐才根 (2010年ベルリン国際映画祭銀熊賞受賞)

1949年共産党に敗れて台湾に退却した国民党の多くの兵士と本国に残されたその家族との分断という複雑な問題が、上海の劇的な変化に取り残されそうになる一家の上に降りかかる。

上海の玉娥のもとに台湾から40年振りに元夫・燕生が尋ねて来る。しかし玉娥には既に夫・善民と家族がいる。気持ちが揺れる中で精一杯のもてなしをする夫や家族。しかし燕生には玉娥を台湾に連れていきたいという気持が。各人の心の動きと、同じ食卓を囲む度に深まる燕生と玉娥、善民の絆が描かれる。さて玉娥の下す決断は。

### 新着ドラマ (中国語字幕)

#### \* 『步步惊心』 35話 (邦題：宮廷女官若曦)

監督：李国立 / 主演：刘诗诗、吴奇隆、郑嘉颖、袁弘、林更新



以前日本語字幕でテレビ放映された作品の中国語字幕版です。

交通事故に遭った現代の歴史好きの張曉は、何と300年前の清代にタイムスリップし、康熙帝第八皇子の側室の妹・若曦の中に入ってしまう。そして戸惑いながらもこの世界に生きていこうと決心する。

時まさに康熙帝の後継者争い「九王奪嫡」が繰り広げられている。このドラマにはその内の主に6人の皇子が登場。若曦の現代的なセンスと、はっきりした考え方や物言いはこの皇子たちを惹きつけ、若曦はそれぞれと信頼や友情そして愛情を育んでいく。

この争いの顛末を知っている若曦は、どんな役目を果たしていくのか。

#### \* 『步步惊情』 35話



(邦題：続・宮廷女官若曦～輪廻の恋～)

監督：李国立 / 主演：吴奇隆、刘诗诗、孙艺洲、蒋劲夫

『步步惊心』の続編。清王朝から現代へ再びタイムスリップした張曉は、博物館で第四皇子そっくりの殷正に会い、彼を追って大企業・震天グループに入社することになる。

清代では結ばれなかった二人の現代での行く末は如何。

\* 新着図書は階段の掲示板をご覧ください。

# 6 月の日中学院

星期日	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六
						<b>1</b>
<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b> ●別科・日本語科 昼食会	<b>6</b> ●別科・日本語科 昼食会	<b>7</b> ●別科・日本語科 昼食会 ●本科進路相談会	<b>8</b>
<b>9</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>12</b>	<b>13</b>	<b>14</b> ●本科 2年定期 試験(～20日) ●別科公開講座 18:45～20:45(入門)	<b>15</b>
<b>16</b> ●日本語科 留学 試験/別科1日 集中講座	<b>17</b>	<b>18</b>	<b>19</b>	<b>20</b> ●短期研修結団式	<b>21</b> ●本科2年短期 研修授業体制 (～7/29)	<b>22</b> ●別科公開講座 13:00～15:00 (入門・基礎)
<b>23/30</b>	<b>24</b> ●本科2年短期研 修出発(～7/29) ●273期別科授業 最終日	<b>25</b> ●別科学期間休み (～6/30)	<b>26</b> ●別科学期間休み	<b>27</b> ●別科学期間休み	<b>28</b> ●別科学期間休み	<b>29</b> ●別科学期間休み ●日中学院校友会 理事会・総会(予 定)
●7月の日中学院 ・1日…別科274期授業開始 ・2日…本科1年朗読大会 ・7日…日本語能力試験			・8日…日本語科定期試験(～12日) ・13日…日本語科ホームステイ ・25日…本科1年定期試験(～31日)			・26日…日本語科 個人面接 ・29日…本科2年短期研修 帰国 ・31日…本科・日本語科 1学期授業 終了日

## ○日曜一日集中講座

### 6月16日(日)

平日にお時間が取れないという方も、  
この機会に学んでみませんか？

- ①お試し中国語(中国語入門) 小澤光江/楊鳳秋
- ②発音ステップアップ 王淑娟
- ③听听説説 淳于永南
- ④文法も楽しい 粟田厚司
- ⑤聴解力アップ 張武静



・①～⑤ 各4時間

10:00～12:00 / 13:30～15:30

・①～⑤受講料: 8,000円(各定員 15名)

- ⑥もっと身近に中国茶～簡単な入れ方講座～  
安田薫子

・⑥2時間 10:00～12:00

・⑥受講料: 4,000円(各定員 15名)

材料費別途: 500円(当日講師にお支払いください)

受付、お電話、インターネットからでもお申込み  
頂けます。(講座は定員になり次第締め切ります。)

## 学院長の思い出話10

### 正月の東南アジア旅行

日中関係の仕事に就いてから6年、国交も正常化して中国からの来日団も少し落ち着いてきた1974年の年末、正月休みを利用して家内と東南アジア旅行に出かけました。マニラ、シンガポール、クアラルンプール、バンコクの4都市を各2泊で移動する個人旅。どの都市にも中国系住民が多数いました。クアラルンプールで予約の再確認をしなかったために、バンコック行きの便が搭乗拒否に遭いました。マレーシアン航空のカウンター内にいた中国系職員に中国語で交渉し、2時間遅れの便に席を確保することが出来ました。

日中だけの狭い視野で中国を見るのではなく、東南アジアという少し広い視点から中国を見ると、貴重な体験をしました。確かに「世界各地都有中国人」であるし、中国語が使えれば中国以外でもけっこう役に立つことを実感しました。それから40年、グローバル化が一層進み、中国語の使い道はますます広がっています。

(片寄浩紀)